

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ウィズ・ユー羽曳が丘		
○保護者評価実施期間	R7年1 月20 日		R7年 2月1 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年1 月 20日		R7年1 月30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2 月15 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの自主性を重んじる。 特性をとらえ支援の方法が柔軟である。 子供と本気で遊ぶ指導員、保育士で構成されている。 個別支援計画は、保護者のニーズをしっかりと反映し作成しています。理学療法士も在籍で日常生活の質の向上も同時に 行えています。	子どものコンディションを確認して支援を行っています。 週の終わりに近づいた時には児童は疲れており、支援を受けられる環境にない場合があります。その際は、子供の気持ちをしっかりと受け取って支援を少し緩めて、楽しく過ごせるよう努めています。	遊びの器をしっかりと埋めてあげてから、支援を行います。 そうすることにより、支援がスムーズになりストレスが少なくなると考えています。
2	英語や体操などの外部講師を招き、楽しい時間を過ごしたり、 工作、リトミック、センサリーマット、絵本の読み聞かせなど 様々なプログラムで子供の楽しいを引き出します。	初めての体験をしてもらえるプログラムを考えています。 特にお出かけプログラムは、公共の施設の利用の仕方などをみんなで学びます。また、待つ、並ぶなども習得できる 外出プログラムで、出来ることをどんどん増やします。	指導員が新しい取り組みに貪欲となり、支援を行っています。 不具合も話し合い、次回に繋げる取り組みを常に行います。
3	公園や図書館などが近隣にある好立地も事業所の強みです。	絵本の読み聞かせは必ず行っています。 また、時間の確認、集団行動の大事さを分かってもらうために、終わりの会への参加は重視しています。	一人で絵本が読める時間を確保し、静の支援も行います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修になかなか参加が出来ずにいる。	配置人員は充足しているが、今以上の余剰人員不足	人員を十二分に確保し、外部の研修に参加できる環境を作っていきたい。
2	避難訓練など行っていますが、曜日により参加できない児童がいる事。	事前に関催日時を保護者に周知し、参加してもらえるよう促す。	書面のお知らせも含めて、LINEなどでも周知を行う。
3			